

✿ ナマケモノは怠け者？

ナマケモノは中南米の熱帯雨林に生息する、ほ乳動物です。地上約 10 メートルから 30 メートルの高みで木の枝にぶらさがってのんびりと一生の大半を過ごすこの動物、実は、人間の私たちが見習うべき、エコな暮らし方のヒントがいっぱいつまっています。



徹底した低エネ・ライフスタイル

ナマケモノは普通の動物の約半分の量の筋肉で生活しています。筋肉が少ない分、動きはスローですが、体が軽くなるため細い木にも登れ、それだけ敵から襲われる心配もありません。また、枝にかぎ爪をかけてぶらさがったまま食べたり眠ったりと、とにかくエネルギーを使いません。

究極のリサイクル精神

危険を承知の上でゆっくりと木の根元まで下り、用を足すナマケモノ。地面に浅い穴を掘って糞をした後は、枯れ葉でそれを覆うことも忘れません。実はこの習慣が、木々にとっては重要な意味を持っているのです。ナマケモノは、葉を食べて得た栄養を木に返すことで、自分たちが食べている木の命を支え、育てているのです。

ナマケモノ流「共生」

これまでナマケモノは一種類の木しか食べないとされてきましたが、実は 90 種近く食べることがわかっています。お互いにそれぞれ特定の木の間を渡り歩いて暮らすことで棲み分けを実現し、仲間どうしの競争を避けています。またナマケモノは自分自身が食べていた木を子どもに伝え、母親は子どもが自立する時に自分の木の一部を譲り渡します。

ナマケモノ的生き方のススメ

循環、低エネルギー、非暴力・共生といったナマケモノの生き方は、地球を長持ちさせるために重要なキーワードです。「ナマケモノを守ろう」ではなく、ナマケモノの生き方になら、「ナマケモノになる」。それは、地球の反対側で起きている環境破壊の原因の一つが、日本など先進国といわれる国々での浪費的な暮らし方にあることを認識し、私たち自身が変えることです。

✿ ナマケモノ会員になりたい！

- 「しないこと」を愉しく増やしたい
- 手仕事や半農半 X 的な暮らしを学びたい
- 原発をナマケたい、消費主義をナマケたい
- 子どもと一緒に関わりたい
- アートでスローを表現したい
- 各地のナマケモノたちとつながりたい

ナマケモノ倶楽部の Slow ムーブメントは、みんなの「こんなことあったらいいな」を形にするプラットフォーム。あなたも一緒に、毎日の暮らしの中からムーブメントの担い手になりませんか？

スローな未来を創るのは、あなたです。

会費は月額 300 円（年間 3600 円）。郵便局の「自動払込制度」に登録手続きをすれば、毎月自動的に会費が引き落とされます。郵便局に総合口座があれば、誰でも申し込めます。

* ナマケモノ会員への手続き *

1. 印鑑と通帳を持って近くの郵便局へ行く。
2. 「自動払込利用申込書」に記入・捺印。
(用紙は郵便局の窓口でもらえます)

払込先加入者名：ナマケモノ倶楽部

払込口座番号：00170-6-141662

費用の種類：33. 会費 引落日：15 日

3. 毎月ナマケモノ会費（300 円）と振込手数料（25 円）が自動的に引き落とされます。

* 年会費（3600 円）の一括納入やカンパは、郵便振込用紙にて上記口座にお振込ください。

ナマケモノ倶楽部

The Sloth Club

<通称・ナマクラ>



スロー・イズ・ビューティフル

〒136-0072 東京都江東区大島 6-15-2-912
Tel/Fax：03-3638-0534
www.sloth.gr.jp info@sloth.gr.jp

ver.20

✿ ナマケモノ倶楽部ってなあに？

「ナマケモノ倶楽部」(通称「ナマクラ」)は、学生・社会人・フリーターなど様々な立場の人たちが集まって 1999 年に発足した市民団体です。目指すは・・・

「ナマケモノになろう！」

「クジラを救おう」とか「ゾウを守ろう」など、絶滅の危機にある動植物を保護する運動は数多く存在しています。しかしナマクラでは世界で初めて、ある動物を守るだけではなくついでに「それになってしまう」運動を展開しようと思うのです！

【ナマクラ・コンセプト】

いのちの源である森を守る (環境運動)
 毎日の暮らしでのスローダウン (文化運動)
 フェアトレードによる地域支援 (エコビジネス)

✿ これまでの主な活動

- 1999 年 7 月 ナマケモノ倶楽部発足
 (世話人：アンニャ・ライト、辻信一、中村隆市)
- 2000 年 5 月 「国際有機コーヒーデー」(5/22) スタート
- 2001 年 10 月 「フィエスタ・エクアドル」主催
- 2002 年 4 月 「zoony キャンペーン」スタート
 5 月 「スローカフェ宣言」発表
 10 月 地域通貨「ナマケ」スタート
 セヴァン・スズキ来日ツアー主催
- 2003 年 6 月 「100 万人のキャンドルナイト」主催
- 2004 年 12 月 「9 ムーブメント」スタート
- 2005 年 4 月 「ハチドリキャンペーン」スタート
- 2006 年 11 月 「GNH キャンペーン」スタート
- 2008 年 12 月 「アンペアダウン プロジェクト」スタート
- 2011 年 4 月 「ポスト 3 1 1 を創る」スタート
- 2012 年 4 月 「スロー・シネマ・カフェ」スタート
- 2014 年 4 月 「コットン・レボリューション」スタート

✿ ナマケモノ倶楽部がめざすコト

世界とつながる環境＝文化運動

ナマケモノ倶楽部は、設立当初より環境を守るだけでなく、その問題を引き起こしている私たちの暮らしの在り方に目を向け、システムそのものの変革を提案・実践してきました。



2009 年からは DVD シリーズ「アジアの叢智」を製作開始。上映運動 (スロー・シネマ・カフェ) を通じて、ホリスティックな視点をもつ市民を増やし、各地でスローなアンテナを持つグループとのゆるやかなネットワークを育てています。

毎日の暮らしで「私にできること」

「100 万人のキャンドルナイト」や「ハチドリのひとしずく」は、全国的なムーブメントへと成長しました。スロームーブメントは、誰でもいつでも始められるのが特徴です。

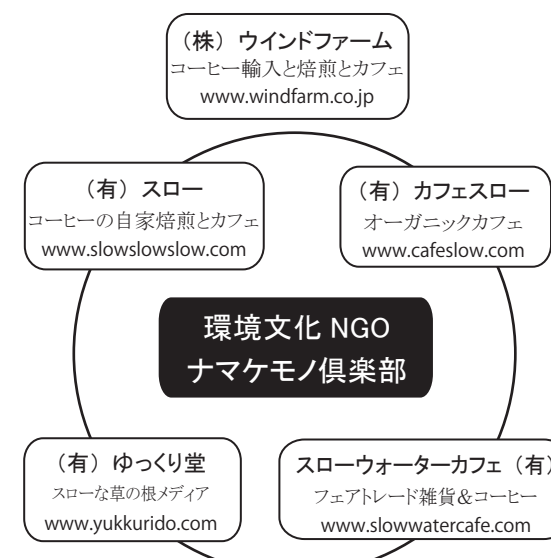
ナマケモノ倶楽部では、ブータンの GNH に学び、モノやオカネでははかれない「豊かさ」を大切にしています。メンバー個人が、生活文化の様々な場面でスローダウン (水筒やマイ箸を持ち歩く、農のある生活を応援する、子育て・子育てをサポートする) をたのしく実践。同時に、戦争や原発をナマケる活動も展開しています。

スローとはひとことでは「つながり」。火、水、土、風、そしてそこで暮らす人々の、いのちのつながりを育むこと。待つ、食べる、共に生きる、愛する…。文化的時間や生物学的な時間は本来スローなものです。(辻信一)

表紙イラスト：長野亮之介、内側イラスト：新開裕子、藤岡亜美

「スローなビジネス」を創る

ナマケモノ倶楽部では、環境問題を経済活動から変えていく「スロービジネス」に取り組んでいます。これまでにナマクラから若者を中心に 4 つのスロービジネスが誕生、ダイナミックに企業活動を展開しています。2007 年には、森林農法で栽培された「無農薬コーヒーハチドリのひとしずく」をプロデュース。メキシコ・エクアドルの森を鉱山開発から守り、その生態系に寄り添った暮らしを営む生産者たちを応援しています。



スロービジネスは「いのちを大切にすること」。現代社会を方向づけている経済やビジネスの「いのちを大切にしない」現状を変えたいという想いから生まれた言葉です。(中村隆市)